

令和8年（2026年）度事業評価シート

令和 8 年 5 月 15 日

評価対象事業	健福 - 43	救急医療対策事業	☐ 法定受託事務	
所管課	健康福祉部 市民健康課		評価者 市民健康課長 那須 文嘉	
一般	会計	款 20	項 5	目 5
総合計画上の位置付け	分野名	健康福祉	施策の方針名	健康長寿社会の構築

1 事業の目的

対象	市民等	意図	市民等の急病などに対応するため。
効果	休日・夜間の急病に迅速な対応を行う。		

2 事業工程と運営資源配分

☐ 単年度事業 ☐ 終期のある事業（事業終了予定年度： 年度） ☒ 単年度繰返

	令和7年度	令和8年度	令和9年度（未定）
事業工程	救急医療体制整備	救急医療体制整備	救急医療体制整備
予算額（千円）	121,685	136,318	
国県支出金	5,071	5,112	
地方債			
その他			
一般財源	116,614	131,206	0
当初人員配置数	1.0	1.0	0.0
人件費（千円）	8,537	8,826	0
事業実績	救急医療体制整備		
決算額（千円）	119,426		
国県支出金	4,204		
地方債			
その他			
一般財源	115,222	0	0
人員配置実績数	1.0	0.0	0.0
人件費（千円）	8,283	0	0

3 活動結果（アウトプット）指標

No	活動結果（アウトプット）指標		単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9
						（上段実績、下段経費（千円））		
活1	指標名	休日夜間急患診療所の小児科医配置率（夜間）	%	60.4	↗	60.3		
	実績につながる活動	休日夜間急患診療所に小児科医を配置した。医師会に配置率が100%となるよう依頼した。				3,330		

活動結果指標の実績に影響を与えた外部要因	医師会に所属している小児科医が少なく、確保が難しく配置日数を増やせない。
本事業実施に伴う活動結果指標の達成状況に対する評価	休日夜間急患診療所の小児科医配置率（夜間）は前年度と同水準となっており、概ね達成しているが、100%となるよう医師会には依頼していく。

4 成果（活動による直接アウトカム）指標

No	成果（アウトカム）指標の内容	単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9	関連する活動結 果指標No （最大3つ）
					実績			
成1	休日夜間急患診療所の利用者満足度	%	－	↗	－			

成果指標の実績に影響を与えた外部要因	実績に影響する外部要因はなかった。
本事業実施に伴う成果指標の達成状況に対する評価	休日夜間急患診療所の利用者満足度については、令和8年度から実施していくため、令和7年度の評価はない。
活動結果指標と成果指標結果の比較分析（寄与度）	利用者満足度アンケートは令和8年度から実施していくため、今年度の評価はできない。小児科医の配置率が現在60%程度で小児科医が不在の場合があり、配置率の改善が図られれば利用者の満足度は向上していくと考える。

5 評価結果

評価	妥当性	事業に対するニーズ	☐ 増えている	☒ 変わらない	☐ 減少している
		事業実施の主体となるべき者	☒ 市	☐ 国・県	☐ 民間事業者 ☐ なし
	有効性	事業の成果	☐ 十分に出ている	☒ 概ね出ている	☐ 出ていない
	効率性	事業費削減余地	☐ ある	☒ なし	
		関連・類似事業との統合	☐ できる	☒ できない	
方向性	公平性	受益者負担	☒ 導入済	☐ 導入予定	☐ 導入できない
		評価実施年度の方向性 ⇒	評価実施翌年度以降の方向性		
	事業内容の方向性	☒ 事業内容は現状通り ☐ 事業内容は見直し済 ☐ 事業を休止又は廃止済 ☐ 他事業と統合済	⇒	☒ ① 事業内容は現状通りとする ☐ ② 事業内容は見直す → ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ その他 ☐ ③ 事業は休止又は廃止する ☐ ④ 他事業と統合し、本事業は廃止する → 事業へ統合	
	予算規模の方向性	☒ 予算規模は現状維持 ☐ 予算規模は拡大済 ☐ 予算規模を縮小済	⇒	☒ ① 予算規模は現状維持とする ☐ ② 予算規模は拡大する ☐ ③ 予算規模は縮小する	

今後の取組方針（見直し方針）	課題への対応		結果	具体的な内容	
	前年度の新たな課題への対応結果		未解決	医師会に所属している小児科医が少なく、確保が難しく配置日数を増やせない。医師会には引き続き小児科医を100%配置するよう依頼していく。	
	活動結果指標や成果指標の達成状況に影響を与える新たな課題		新たに認識された課題はなかった		
	新たな課題に対応するための新規事業の必要性		新たに認識された課題はなかったため検討なし		
	総評	令和８年度から利用者満足度アンケートを実施し、その回答を基に改善を図り利用者の満足度を高めていく。			
					上位施策への寄与度 B

○ 他市比較・ベンチマーク（県内外自治体や民間団体との比較値）

比較事項	令和7年度休日夜間急患診療所の小児患者（上段：小児患者数/下段：患者のうち小児患者の占める割合）								
団体名	鎌倉市	藤沢市	逗子市						
他市実績	906人	1,415人	1,946人						
	43.6%	41.2%	34.1%						
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	休日夜間急患診療所における小児患者の割合は他市よりもやや高い傾向にある。小児科診療のニーズに対応するため、今後も高い配置率を維持する必要がある。								